

USUI Sustainability Report 2025

-目次-

1. 会社紹介

- ・会社概要
- ・売上比・製品紹介
- ・主要納入先様
- ・国内ネットワーク
- ・グローバルネットワーク
- ・各種認証・特許

2. CSR経営

- ・経営理念・会社方針・社員訓
- ・会社組織図
- ・USUI CSR方針
- ・企業倫理方針
- ・CSR行動指針
- ・グローバルCSR委員会

3. ガバナンス

- ・リスクマネジメント
- ・企業倫理：KPI、実績
- ・情報セキュリティ
- ・個人情報管理

4. サプライチェーンマネジメント

- ・調達方針
- ・調達ガイドライン
- ・グリーン調達
- ・紛争鉱物問題への対応

5. 社会

- ・人権・労働
- ・ダイバーシティ
- ・人材開発・人材育成
- ・安全の確保
- ・品質の確保

6. 環境

- ・環境方針
- ・グローバル環境保全

2026年3月6日
臼井国際産業株式会社
経営企画部 経営管理課

会社概要

臼井国際産業株式会社

設立 1941年2月11日

所在地 〒411-8610 静岡県駿東郡清水町長沢131-2
TEL : 055-972-2111(代)
FAX : 055-973-3159

資本金 1億円

グローバル従業員数 本社 681名 / グローバル 11,000名 (2025年12月末現在)

グローバル売上高 1,699億円 (2025年12月期連結)

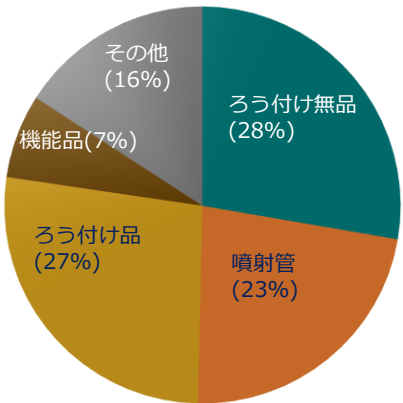
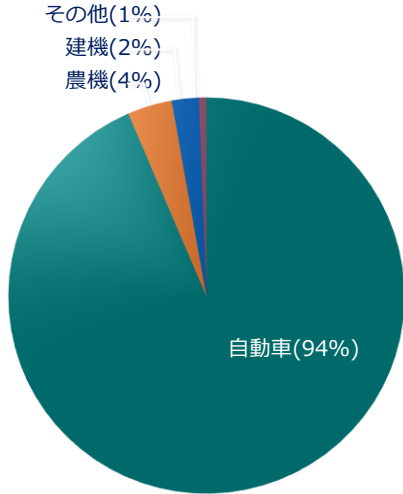
グループ会社

USUI International Corporation
USUI International Corporation
(Thailand) Ltd.
USUI International France S.A.S.
USUI International Germany GmbH
USUI INTERNATIONAL ITALY S.R.L.
臼井汽车零部件(上海)有限公司
臼井汽车零部件(佛山)有限公司
上海臼井発動機零部件有限公司
臼井管路系統(合肥)有限公司
嘉興臼井鶴見精密管路系統有限公司
USUI International Korea Co, Ltd.

USUI SUSIRA INTERNATIONAL Private Limited
PT.USUI INTERNATIONAL INDONESIA
USUI INTERNATIONAL MANUFACTURING MEXICO, S.A. DE C.V.
USUI INTERNATIONAL PHILIPPINES CORPORATION
USUI Green Tech 株式会社
株式会社日本エー・エム・シー
有限会社伸東工業 計18社



売上比・製品紹介



高圧噴射対応燃料噴射管
USIT®-SP



ガソリン直噴用高圧燃料
レール&配管



脈動低減フューエルレール
UFRID®



燃料電池用
高圧水素配管



After treatment Hydro-
carbon Injection配管



プッシュロッド



EGRチューブ



外部制御ファンドライブECFD®



ターボチャージャー用配管



プラスチッククーリングファン
&ファンドライブ®



ブレフィン・チューブ®



ブレイジング加工製品



フューエルクーラー



集中配管 ULLT®



主要納入先様

国内

【自動車】

- いすゞ自動車(株)
- カルソニックカンセイ(株)
- 自動車部品工業(株)
- ジヤトコ(株)
- スズキ(株)
- (株)SUBARU
- ダイハツ工業(株)
- (株)デンソー
- トヨタ自動車(株)
- 日産自動車(株)
- 日産車体(株)
- (株)ニチリン
- 日野自動車(株)
- 本田技研工業(株)
- マツダ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- 三菱ふそうトラック・バス(株)
- メイジフローシステム(株)
- UDトラックス(株)

【農機・建機】

- (株)IHI芝浦
- (株)クボタ
- (株)コマツ
- 三菱重工業(株)
- ヤンマー(株)

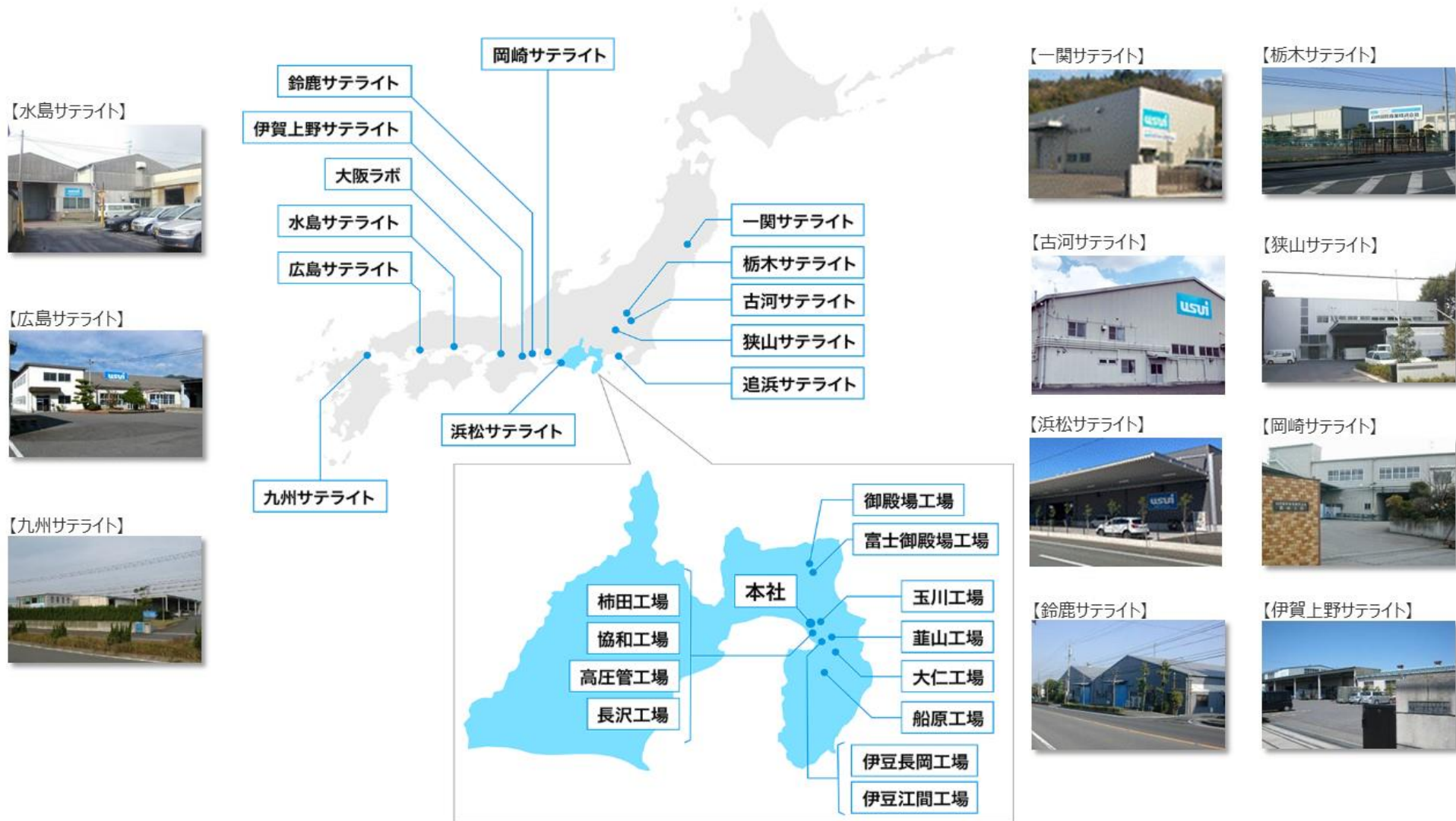
海外

- Audi AG
- AvtoDizel (YaMZ)
- BMW Motoren GmbH
- CAT
- China First Automobile Vehicle Grp.
- Chrysler
- Continental
- Cummins Inc.
- Daimler AG
- Denso Manufacturing
- Deutz AG
- Delphi Diesel Systems
- DMAX,Ltd.
- Dong Feng Motor Industry Group
- FCA
- Ford Motor Company
- General Motors Corporation
- Hyundai Kia Motors
- Iveco SPA
- John Deere
- Mack Trucks
- MAN Truck & Bus AG
- McLaren
- NMISA
- PSA PEUGEOT CITROËN
- Renault s.a.s.
- Robert Bosch GmbH
- Robert Bosch
- ThyssenKrupp
- TME
- Volkswagen AG
- Volvo Car Corporation
- Volvo Trucks
- Zavolzhsky Motorny Zavod (ZMZ)

その他 約230社

※敬称略、50音・アルファベット順

国内ネットワーク



グローバルネットワーク

- USUI 単独進出
- USUI 合併会社

- ① : USUI International Corporation Michigan Office
- ② : USUI International Corporation Virginia Plant
- ③ : USUI International Corporation Ohio Plant
- ④ : USUI INTERNATIONAL MANUFACTURING MEXICO, S.A. DE C.V.



- : 臼井国際産業株式会社
- ⑦ : 上海臼井発動機零部件有限公司
- ⑧ : 臼井汽车零部件(上海)有限公司
- ⑨ : 臼井汽车零部件(佛山)有限公司
- ⑩ : 臼井管路系統(合肥)有限公司
- ⑪ : 嘉興臼井鶴見精密管路系統有限公司
- ⑫ : USUI International Korea Co., Ltd.
- ⑬ : USUI International Corporation (Thailand) Ltd.
- ⑭ : PT.USUI INTERNATIONAL INDONESIA
- ⑮ : USUI SUSIRA INTERNATIONAL Private Limited
- ⑯ : USUI INTERNATIONAL PHILIPPINES CORPORATION

- ⑤ : USUI International France S.A.S.
- ⑥ : USUI International Germany GmbH
- ⑰ : USUI INTERNATIONAL ITALY S.R.L

各種認証・特許

IATF16949 : 2016 認証取得

- 臼井国際産業株式会社 / 高圧管製造部(含む本社)
対象範囲：ディーゼルエンジン用高圧燃料噴射管の設計及び製造
- UIC(米国) / オハイオプラント(ミシガンオフィス含む)
対象範囲：プラスチックファン、ファンドライブ、フューエルチューブ、フューエルレール、の設計、製造
- UIC(米国) / バージニアプラント(ミシガンオフィス含む)
対象範囲：噴射管および、ブレーキ他オイルパイプの製造
- UIMM(メキシコ)
対象範囲：パイプの製造
- UICT(タイ)
対象範囲：自動車産業用パイプの製造
- 上海臼井発動機零部件有限公司(中国)
対象範囲：噴射管、フューエルチューブ、フューエルレールの設計、製造
- 臼井汽车零部件(佛山)有限公司(中国)
対象範囲：自動車用パイプの製造
- 嘉興臼井鶴見精密管路系統有限公司(中国)
対象範囲：エンジン用ステンレスチューブの製造
- 臼井管路系統(合肥)有限公司
対象範囲：パイプの製造
- USUI SUSIRA(インド)
対象範囲：エンジンバルブプッシュロッド、ピストン冷却ノズルアセンブリ及び他の自動車部品用の機械精密加工
- PT.USUI (インドネシア)
対象範囲：低圧管、噴射管、クーリングファン・ファンドライブの製造

ISO9001 : 2015 認証取得

- 本社、機能品製造部、機能品製造部船原工場、協和製造部協和工場、協和製造部柿田工場、大仁製造部、玉川製造部、葦山製造部、長沢製造部本工場、長沢製造部西工場、富士御殿場製造部、アモルファス製造部、御殿場製造部、広島サテライト
- UIPC(フィリピン)

ISO14001 : 2015 認証取得

- 本社、長沢・長沢西工場、高圧管工場、協和工場、葦山工場、伊豆長岡工場、伊豆江間工場、柿田工場、玉川工場、大仁工場、御殿場工場、富士御殿場工場、栃木サテライト、岡崎サテライト、広島サテライト、九州サテライト (JAB:JP08/070474)(UKAS:JP98/012032)
- UIC(米国) / オハイオプラント(ミシガンオフィス含む)
- UIC(米国) / バージニアプラント(ミシガンオフィス含む)
- UIMM(メキシコ)
- 上海臼井発動機零部件有限公司(中国)
- 臼井汽车零部件(上海)有限公司(中国)
- 臼井汽车零部件(佛山)有限公司(中国)
- 臼井管路系統(合肥)有限公司(中国)
- 嘉興臼井鶴見精密管路系統有限公司(中国)
- UICT(タイ)
- PT.USUI(インドネシア)
- USUI SUSIRA(インド)

臼井国際産業株式会社と海外子会社（以下USUIグループと言う）は、“お客様第一主義”を基軸に「社会に貢献」という経営理念のもと、CSRを実践し、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様に「信頼される企業」を目指しています。

経営理念

創造と和の精神で
社会に貢献

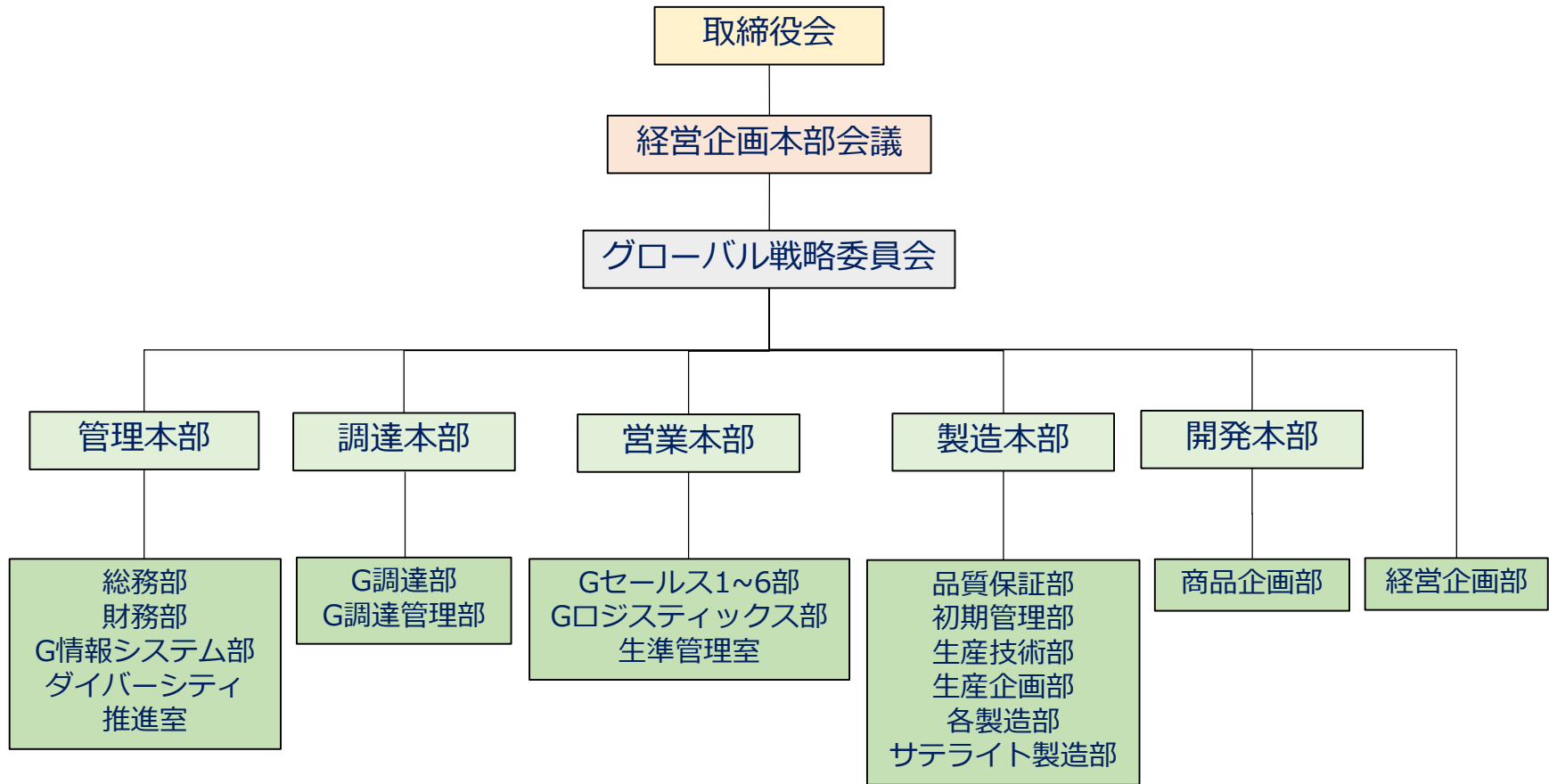
方針

世界の顧客に
信頼される企業

社員訓

- 1.和協一致して信義礼節を重んじましょう
- 2.健全な身心を養い、智識を深め技術の錬磨に努めましょう
- 3.創造の精神を尊び、日々心を新たに前進しましょう
- 4.職場の規律を守り、明るく楽しく勤めましょう
- 5.地域社会のために努め、社業の進展に力を尽くしましょう

会社組織図



CSR活動宣言

臼井グループ（臼井国際産業株式会社及びその子会社）は、『経営理念』実現のため、同理念及び『会社方針』に則り、グローバル社会の一員として、事業活動のあらゆる場面でCSR活動を推進します。

臼井グループ内でのCSR活動をより一層充実させるため、『臼井CSR方針』を策定し、臼井グループ全社員に『臼井CSR方針』の周知徹底を図ります。そして、品質、人権、労働、安全、環境、コンプライアンス、リスク管理、社会貢献をCSR活動の重要分野と位置付け、積極的なCSR活動を展開します。

CSR基本方針

- 臼井グループは、『経営理念』に基づき、グローバル社会の一員として、その事業活動を通じてグローバル社会の安定的・持続的発展に貢献することを目指します。
- 臼井グループは、『USUI行動指針』に基づき、各国法令・倫理規範及び人権を守り、誠実な事業活動を行います。
- 臼井グループは、グローバル社会の一員として、様々な社会問題の解決に貢献し、ステークホルダーの期待に応えます。

CSR運用指針

分野	取り組み項目
1 品質	1-1 顧客ニーズに応える製品の提供
	1-2 製品情報の適切な提供
	1-3 製品の安全確保
	1-4 製品の品質確保
2 人権・労働	2-1 差別撤廃（雇用機会の均等化）
	2-2 人権尊重（ハラスメント防止）
	2-3 児童労働の禁止
	2-4 強制労働の禁止
	2-5 賃金
	2-6 労働時間
	2-7 社員との対話・協議
	2-8 安全・健康な労働環境
	2-9 人材育成
3 環境	3-1 環境マネジメント
	3-2 温室効果ガスの排出削減
	3-3 大気・水・土壌等の環境汚染防止
	3-4 省資源・廃棄物削減
	3-5 化学物質管理

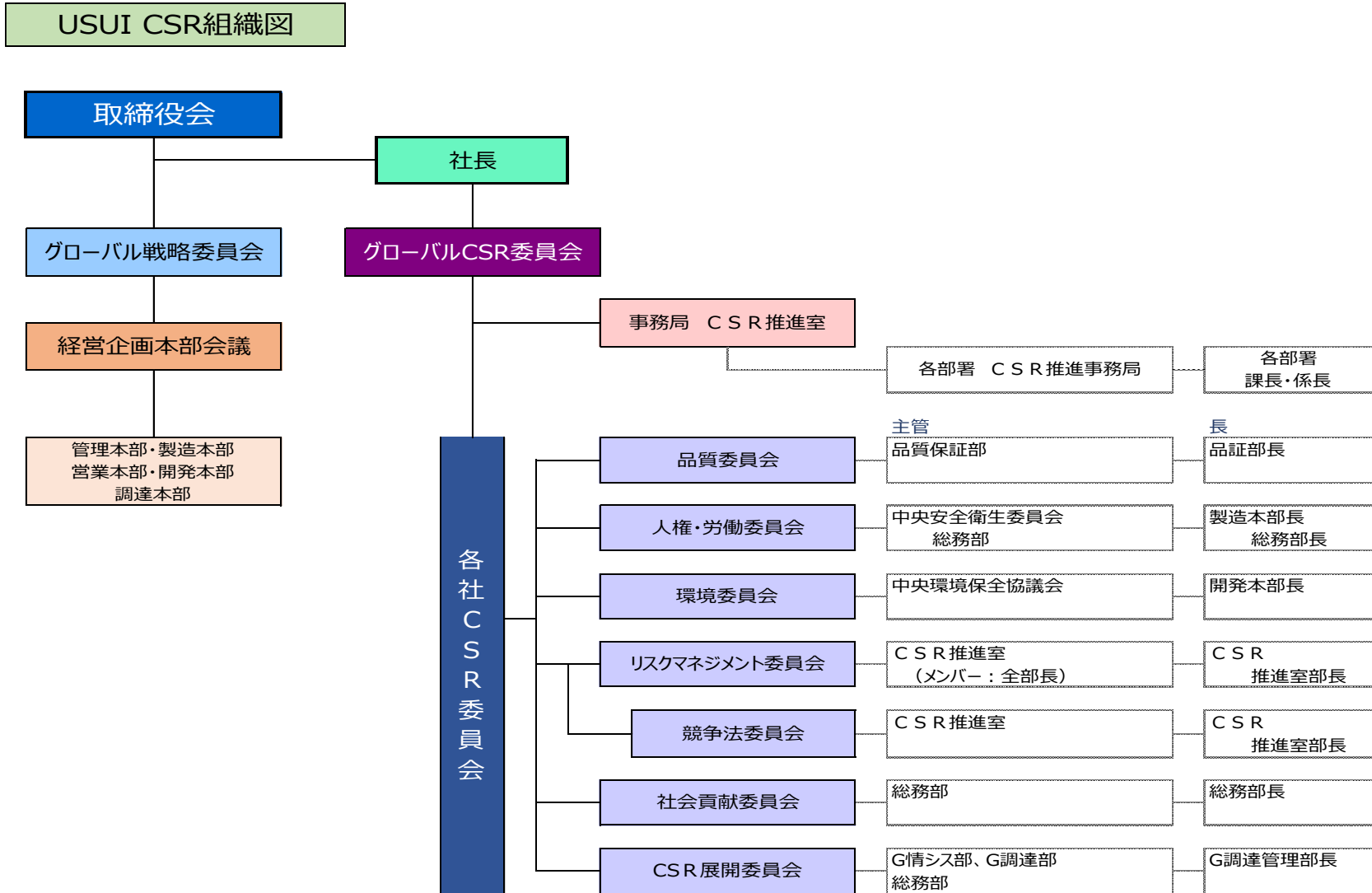
分野	取り組み項目
4 コンプライアンス	4-1 法令の順守
	4-2 競争法の順守
	4-3 腐敗防止
	4-4 機密情報の管理・保護
	4-5 輸出取引管理
	4-6 知的財産の保護
5 リスク マネジメント	5-1 全社的なリスク管理の仕組み
	5-2 BCPの策定
6 社会貢献	6-1 地域（コミュニティ）への貢献
7 CSR推進体制	7-1 社内におけるCSR活動の取組み・展開
	7-2 自社→取引先（仕入先）に対するCSR活動の仕組み・展開
	7-3 ステークホルダーへの情報開示

CSR行動指針

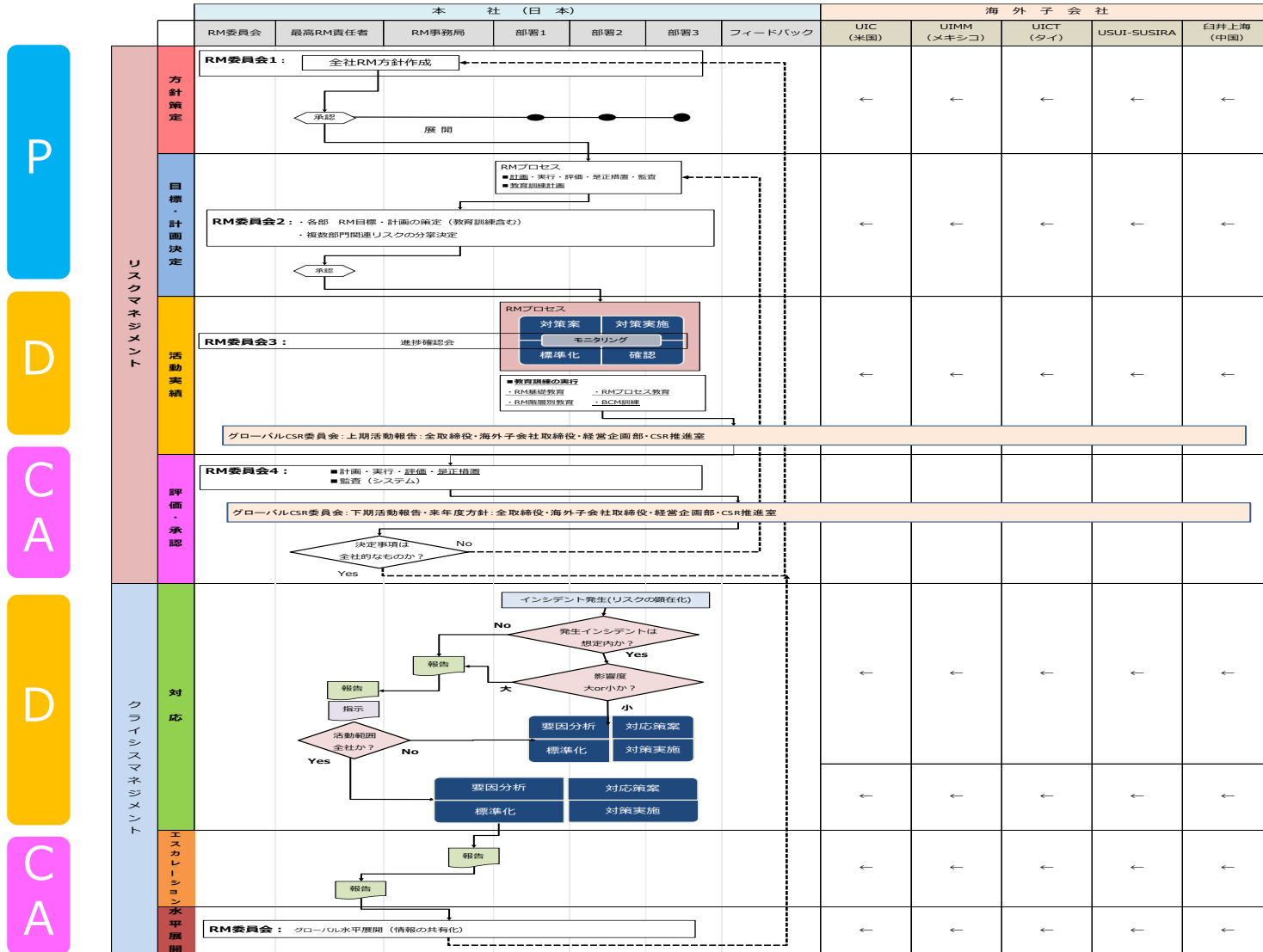
		USUIグループの一員として
		私たちは、USUIグループの一員として、すべてのステークホルダーから信頼を得るために、常に「誠実さ」をモットーに行動します。
大項目	中項目	行動指針
1 品質	<p>『品質方針』 「世界の顧客に信頼される企業」 私たちは、お客様が満足する世界一の製品を以下の要件で生産し、Q M Sの有効性を継続的に改善することにより、顧客満足度100%を達成する。</p> <p>1-1 安全で人によさしい環境の工場 1-2 お客様が満足する品質を確保 1-3 年度品質目標の達成 1-4 必要な法令を含め全ての要求事項に適合</p>	<p>1. 高品質で安全性の高い製品の提供</p> <p>(1) 製品の開発・設計・製造・検査・輸送の各段階において、安全への細心の配慮を行うとともに、品質の確保に努めます。 (2) 製品不良やお客様からのクレームに対し、迅速かつ誠実に対応するとともに、その原因を徹底的に追究し再発防止に努めます。 (3) 適切な品質マネジメントシステムを構築・運用し、必要十分かつ正確な製品情報の提供に努めます。</p>
2 人権・労働	<p>2-1 差別撤廃（雇用機会の均等化） 2-2 人権尊重（ハラスメント防止） 2-3 児童労働の禁止 2-4 強制労働の禁止 2-5 賃金 2-6 労働時間 2-7 社員との対話・協議 2-8 安全・健康な労働環境 2-9 人材育成</p>	<p>2. 人権の尊重、安全・快適な職場環境づくり</p> <p>(1) 人権を尊重し、国籍・性別・障がい等による差別や、児童労働・強制労働・ハラスメント行為などを行いません。 (2) 心身の健康維持・管理や安全な作業に努めます。 (3) 安全・衛生関係法令および会社のルールを守り、安全・衛生が確保された職場環境づくりに努めます。 (4) 労働関係法令および就業規則等の会社ルールを遵守することはもとより、社会的良識に従い自己の職務を誠実に遂行します。 (5) 自己の知識・能力向上を図るため、社内外の研修への参加や自己研鑽に励み、習得した技術・知識を活用することにより、業務の改善や生産性の向上に努めます。</p>
3 環境	<p>『環境方針』 白井国際産業株式会社は、自動車部品の設計、開発及び生産活動において、企業の社会的責任の一環として、地球環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会の構築に向けて、企業活動のあらゆる面で「人の健康維持」と「地球環境保全」に努力を払い、また貢献することに努めます。 周知徹底する。</p>	<p>3. 環境問題への配慮</p> <p>(1) 環境に関わる法令や自社基準を遵守し、業務の遂行に努めます。 (2) 工場および事務所における環境汚染と地球温暖化の防止、資源の循環的な利用、化学物質の管理に積極的に取り組みます。 (3) 環境問題の発生防止に努めるとともに、環境問題が発生した場合、環境負荷を最小限にするよう適切な処置を迅速に講じます。 (4) 職場における省エネ活動、廃棄物の削減やリサイクルなど、会社が推進する各種環境活動にも積極的に参加します。</p>
4 コンプライアンス	<p>4-1 法令の遵守 4-2 競争法の遵守</p> <p>4-3 腐敗防止 4-4 機密情報の管理・保護 4-5 輸出取引管理 4-6 知的財産の保護</p>	<p>4. コンプライアンスの強化</p> <p>(1) 独禁法・下請法・不正競争防止法・個人情報保護法その他法令・社内規則・社会規範を遵守します。自由な企業活動を制限する談合・カルテル行為等を行いません。 (2) お取引先から開示された機密情報は、自社機密情報と同様に、適切かつ厳重に管理します。 (3) お取引先に個人的な利益や便宜を図ったり、要求することはいたしません。 (4) 法令で求められている行政機関への報告および届出は、適切に行います。 (5) 反社会的勢力・団体に対しては毅然とした態度で臨み、一切の関係を遮断します。 (6) 海外のお客様と取引をするにあたって、輸出入に関する規制（外為法等の輸出管理法、関税法等）や国際ルール（貿易協定、租税条約等）、現地法令（反ダンピング法等）を遵守します。 (7) 他社の特許権・商標権・著作権などの知的財産権を尊重し、権利侵害しないように十分留意します。</p>
5 リスクマネジメント	<p>5-1 全社的なリスク管理の仕組み 5-2 BCPの策定</p>	<p>5. リスク管理</p> <p>(1) 職場で発生する可能性のあるリスクを洗い出して把握し、リスク発生の未然防止を心がけます。 (2) 万一リスクが発生しても、ダメージを最小限にするために、迅速かつ適切に対処します。 (3) サプライチェーンのグローバル化に伴い、調達先と生産体制の対応強化を図ります。 (4) 震災リスク対応を強化するため、事業継続計画（BCP）の策定に着手し、その改訂と運用を継続的に実施していきます。</p>
6 社会貢献	<p>6-1 地域（コミュニティ）への貢献</p>	<p>6. 社会への貢献</p> <p>(1) 当社の企業活動を通じて、社会に貢献することに努めます。 (2) 地域社会や国内外社会の様々な課題に問題意識をもち、ボランティア活動等の社会貢献活動にも積極的に参加します。 (3) 災害発生等による社会的危機状況の際は、被災地域への復旧・支援活動への参加に努めます。</p>
7 CSR推進体制	<p>7-1 社内におけるCSR活動の取組み・展開 7-2 自社→取引先（主に仕入先）に対するCSR活動の仕組み・展開 7-3 ステークホルダーへの情報開示</p>	<p>7. CSRの実践</p> <p>(1) 私たちは、社会の一員として、会社及び社会の中で自己が果たすべき役割を常に意識し、全てのステークホルダーからの期待に応えられるよう行動することに努めます。 (2) 私たちは、当社の「経営理念」をよく理解し、全社および各職場の方針に定める目標に向かって、日常業務に取り組みます。 (3) ステークホルダーへの説明責任を果たすことにより、社会との円滑なコミュニケーションを図ります。</p>

グローバルCSR委員会

USUI CSR組織図



リスクマネジメント・クライシスマネジメント体系図



リスクマネジメント基本規程

リスクマネジメント基本規程

第1条 目的

本規程は当社、海外の全子会社におけるリスクマネジメントについて基本的考え方を定めるものである。

第2条 適用範囲

本規程の適用範囲は、当社、海外の全子会社(以下、「当社グループ」という)とする。

第3条 対象

当社、子会社の社員(役員、社員、契約社員、他社からの出向者、パート、アルバイト、派遣社員、期間社員を含む)は、本規程を順守しなければならない。

第4条 用語定義

リスク：当社グループの事業活動に及ぼす様々な影響

リスクマネジメント：リスクを特定の上、分析、評価し、全員参加の下で未然防止と発生を前提とした準備を講じること

第5条 基本方針

「当社グループは、持続的な成長を通じて社会的責任を果たすにあたり、常に損失の最小化と利益の最大化を図るため、リスクの適切な管理を行う。」

第6条 行動指針

- 1 「私は、リスクの発見に努め、発見したリスクを速やかに報告します。」
- 2 「私は、自らリスク低減のために行動します。」
- 3 当社グループは、リスク発生時には、社員の総力を結集し、速やかな対応と復旧を図る。
- 4 当社グループは、継続的に社員全員に対して教育訓練を実施する。

第7条 組織体制

- 1 リスクマネジメント委員会： 当社の取締役会や経営会議の下部にリスクマネジメント委員会を置く。
構成メンバーは、最高リスクマネジメント責任者、リスクマネジメント責任者、リスクマネジメント事務局とし、各部署からのリスクマネジメントに関する課題分析と対処案などについて必要に応じ審議し、結果を取締役会・経営会議へ報告する。
- 2 最高リスクマネジメント責任者： 取締役社長が務め、リスクマネジメント委員会の召集ほか、当社のリスクマネジメントにおける指揮を執る。
但し、不測の事態発生等により、最高リスクマネジメントの責務を果たせない場合、代表取締役社長は下位の取締役へ権限を委譲することができる。
- 3 リスクマネジメント責任者： 各リスクに関し、経験・知識のある専門部署長で、責任・権限を持って実行推進する役割を担う。統括部署のリスクマネジメント責任者は主管する子会社のリスクマネジメント責任者も担う。
- 4 リスクマネジメント事務局： リスク管理部署はリスクマネジメント委員会の事務局を担い、推進役としてリスクマネジメント責任者と連携し、各部署で行われている活動の取りまとめや、教育・訓練の実施や情報提供等の働き掛けを行う。

- 5 リスクマネージャー： リスクマネジメント事務局主管部署所属の者で、事務局関連業務を主管するほか、当社におけるリスクマネジメント実務を推進する。
- 6 各部署(各子会社)担当者： リスクマネジメント責任者である所属部署長の指示に従い、平時/有事の自部署内でのリスク対応を行う役割を担う。

第8条 リスクマネジメントプロセス

- 1 リスクマネジメント委員会は、リスクマネジメント責任者を召集の上開催した委員会会議により、全社リスクマネジメント年度方針を策定・決定し、社内に通達する。
- 2 リスクマネジメント責任者は、リスクマネジメント委員会で決定したリスクマネジメント年度方針を受けて、主管する各部署と子会社の機能・事業に関する様々なリスクを適切に管理するための計画・実行・評価・セルフチェック・是正措置という一連のリスクマネジメントプロセスを実施する。
- 3 リスクマネジメント委員会は部署をまたがる問題や、重大リスクなどについて審議・決定し、必要に応じて取締役会・経営会議へ上申する。
- 4 リスクマネジメント委員会は、実際に発生したインシデントに対応し、結果を各部署に展開共有するとともに、次年度 RM 方針策定にフィードバックする。

第9条 リスクアセスメント

リスクアセスメントとして実施する事項は、リスクの特定、リスクの分析、リスクの評価とし、別に定める運用細則に則って実施する。

第10条 リスク対応

各部署(各子会社)は、リスク発生の未然防止と発生を前提とした準備を講じる。

第11条 教育訓練

リスクマネジメント事務局は、リスクマネジメント責任者と連携し、リスクに関する教育訓練計画を立案し実施する。

第12条 リスクマネジメントシステム監査

CSR 推進室は、リスクマネジメント委員会に対し定期的にリスクマネジメントシステムの有効性について監査を行い、問題がある場合は是正勧告を行う。是正状況についても勧告に従い実施されているかをチェックする。

第13条 規程体系

本規程に加え、別に要領および細則を定める。

付則

1. この規程の改正は、リスクマネジメント事務局がリスクマネジメント委員会へ上程し、リスクマネジメント委員会にて審議・決定する。
2. 本規程は、2018年1月6日に制定、施行する。

以上

企業倫理基本方針

USUIグループは、コンプライアンスの実践を経営の最重要課題と位置づけ、この徹底が経営基盤の強化に繋がることを認識し、企業活動に求められる法令の遵守は勿論のこと、社会規範に即した公正で透明性の高い企業活動を行います。

企業倫理基本指針

1. 法令の遵守
2. お客様との信頼
3. お取引先様との関係
4. 従業員との関係
5. 人権尊重
6. 情報の管理
7. 環境保全
8. 正確な記録管理
9. 公正な取引

企業倫理行動指針

1. 法令の遵守

- 1) ビジネスに際して法令および社会規範を遵守します。
- 2) 社会の一員であることを意識し、節度ある行動を取ります。

2. お客様との信頼

- 1) 常にお客様の満足を心がけ、お客様の声に誠実に耳を傾け、ニーズを的確に把握し、適正な商品とサービスの提供により、お客様の満足と信頼の獲得に努めます。
- 2) お客様業務の遂行にあたっては規律ある行動と共に、お客様の信用、名誉を毀損する行為は一切しません。
- 3) 接待・贈答品の授受に関しては、健全な商習慣や社会的常識に沿った行動を行います。

3. お取引先様との関係

- 1) お取引先様とは公正かつ自由な関係を維持し、不当な要求をしません。
- 2) 同業者とは健全な競争を行い、独占禁止法やその他の取引に関する法律を遵守します。
- 3) 暴力団等の反社会的勢力とは取引を行いません。

企業倫理行動指針

4. 従業員との関係

- 1) 労働関連の法律を遵守し、公正で誠実な企業風土の構築を目指します。
- 2) ハラスメント行為の予防に努め、モラルの高い労働環境の維持に努めます。
- 3) 働く人間の個性を尊重し、魅力ある労働環境を作ります。

5. 人権尊重

- 1) 企業活動を通じて人権に悪影響を引き起こし、または助長することをせず、人権に悪影響が生じた場合には適正に対処します。
- 2) 従業員の人権を尊重し、人種、信条、性別、宗教、国籍、年齢、政治的見解、配偶者や子の有無、障がい等による雇用、報酬、昇進等において不当な差別的扱いをしません。
- 3) 従業員の人格、個性を尊重し、合理的で公平な人事制度や労働条件を定めます。
- 4) USUIグループ内だけでなく、お取引先様等USUIグループと深く関わる関係者に人権に対する悪影響を引き起こすリスクがないか情報を収集し、リスク発生防止に努めます。
- 5) 人権に悪影響が生じている場合や悪影響が生じるリスクがある場合、ステークホルダーと対話の機会を持ち、真摯に協議を行うようにします。

企業倫理行動指針

6. 情報の管理

- 1) 業務を通じて取得した情報は、関連する法律を遵守して厳重に管理します。
- 2) 高度な情報セキュリティ環境を構築し、情報を適正に取り扱います。
- 3) 個人情報の保護について規定する法律を厳正に遵守します。

7. 環境保全

- 1) 環境マネジメントシステムを構築し、目標を定めて事業活動に取り組み、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
- 2) 関連法令はもとより、社会からの要請を的確に把握し、自らの基準を定め環境保全のレベルアップに努めます。
- 3) 製品・サービスの企画や設計・開発段階から調達、生産、物流、販売などの各段階における環境負荷の最小化を意識したモノづくりを推進します。
- 4) グローバルな視点での環境管理体制を充実していくとともに、環境負荷の継続的な改善を行います。

8. 正確な記録管理

- 1) 臼井グループは、正確で偽りのない（記録類の捏造・改ざん等の防止）記録を作成し、保管します。

企業倫理行動指針

9. 公正な取り引き

1) 贈収賄の禁止

臼井グループは、当グループのための事業または事業上の便宜の獲得または維持を目的として、他者に対して直接的または間接的に、金銭その他一切の利益または便宜（以下「金銭等」という）の提供、約束、申し出等の賄賂行為を許しません。

2) 政府職員への対応

臼井グループは、各国の政府職員に対して贈賄行為を行わないよう、各国の贈収賄関連法を遵守した事業活動を行います。

3) 利益相反の禁止

臼井グループの従業員は会社の利益に反して、行動・活動したり情報を使用してはなりません

4) マネーロンダリング防止

臼井グループは、信頼できるお客様や取引先様と取引し、マネーロンダリング防止の法令を遵守します。

5) 輸出入管理の徹底

臼井グループは、輸出入管理体制を整備し、規制の対象となっている物品・技術資料や法令に違反する物品（模造品）等を国内外に持ち出し・持ち込まないことを徹底します。

6) 記録の管理

臼井グループは、事実に基づき会計帳簿等を正確に記録し、関連帳簿を適適正に保管します。

7) インサイダー取引の禁止

臼井グループは、上場企業の未公表の重要事実を知り、公表前に株式等を売買する行為を許しません。

企業倫理に関するKPI

コンプライアンスに関するKPI：2025年1月～12月

- ①法令違反件数：0件（内部通報制度通報件数）
- ②人権尊重違反件数（差別、各種ハラスメント等）：0件（内部通報制度通報件数）
- ③公正な取引（贈収賄、FCPA等）違反件数：0件（内部通報制度通報件数）

KPIに対する実績

コンプライアンス KPI/実績

臼井国際産業（株）
2026.1.23

No	指 標	2025年度KPI	2025年度実績	達成率	2026年度KPI
1	法令違反件数	内部通報件数：0件	0件	100%	内部通報件数：0件
2	人権尊重違反件数	内部通報件数：0件	0件	100%	内部通報件数：0件
3	公正な取引違反件数	内部通報件数：0件	0件	100%	内部通報件数：0件

情報セキュリティ宣言

USUIグループは、情報を安全に、完全な状態で、いつでも効率よく使用でき、安価に管理する。これを実現するためのグローバル情報基盤、グローバル情報管理システム、グローバル基幹システムの構築、運用を目指します。

この対象は、情報を共有するステークホルダーを含め実現を目指します。

情報セキュリティ基本方針

1. SECURITY

USUIグループは、国際標準規格（ISO27000シリーズ）に準拠して、情報資産の機密性、完全性および可用性を安全に保ちます。

このため、組織的、技術的に適切な対策を取ります。

2. COMPLIANCE

USUIグループは、情報取り扱いに関する法令、規則等を遵守します。

3. OPEN

USUIグループは、国際標準規格、国際業界に準拠した上で、オープンな情報技術製品を使用して、情報基盤、情報管理システムを構築します。

これにより、ステークホルダーとの情報連携を行いやすくすると同時に、USUIグループの情報管理の健全性を評価できるようにします。

4. COLLABORATION

USUIグループは、国際業界基準（MMOG/LE）に準拠して、調達・生産・物流を構築、運用することにより、各プロセスの効率を高めます。

また、ステークホルダーとの共同作業において情報を最適な方法で共有することにより、共同作業の全体最適化を行います。

5. INNOVATION

USUIグループは、情報技術が常に進化していることを認識して、最適な情報技術を取り込み、使用できるようにします。

その技術が情報基盤の刷新を必要とする場合は、最適な時期にシステムの刷新が完了しているように改革を進めます。

注：MMOG/LE 規格団体:AIAG、内容:資材管理のガイドライン/ロジスティクスに関する評価方法

情報セキュリティ行動指針

SECURITY

- ・ ISO27000(ISMS)に準拠した情報管理
機密管理
BCM (情報)

COMPLIANCE

- ・ ISO27000(ISMS)に準拠した情報管理
法律遵守 (情報)

OPEN

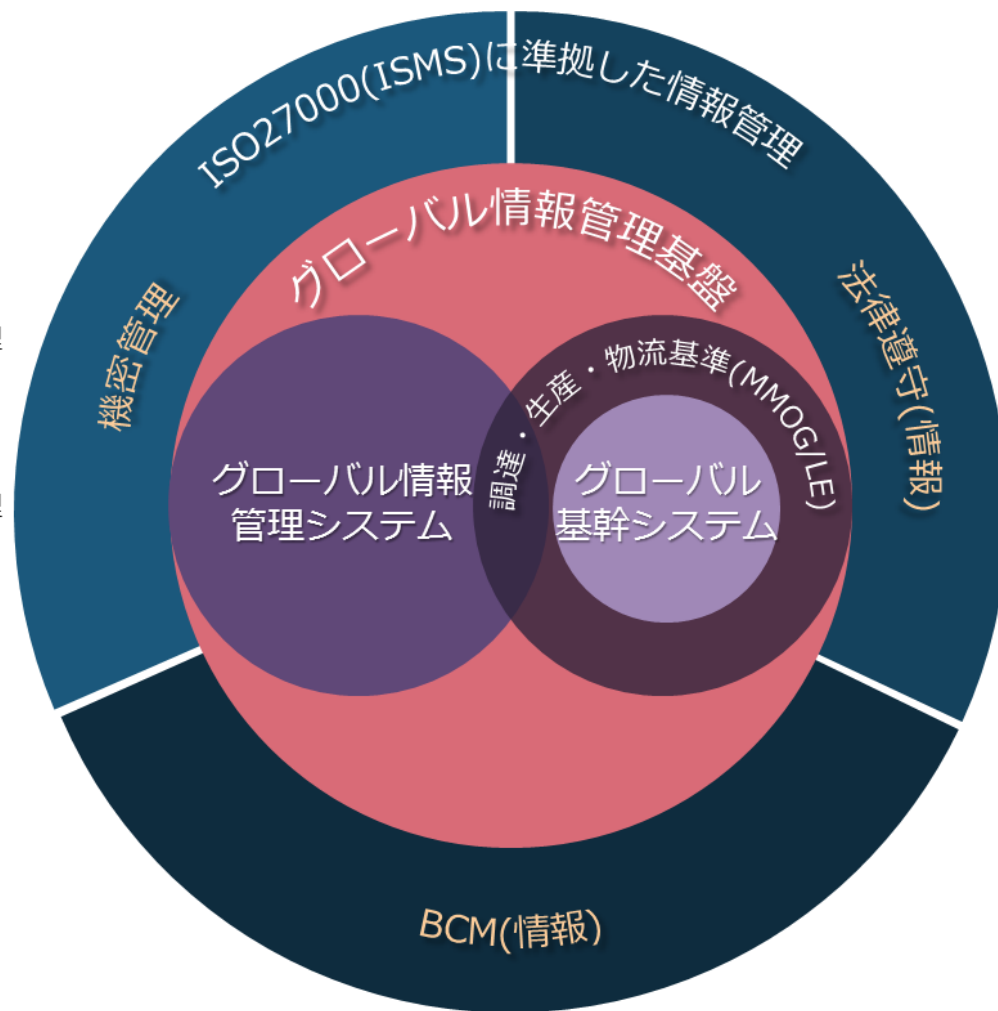
- ・ ISO27000(ISMS)に準拠した情報管理
- ・ グローバル情報管理基盤
- ・ グローバル情報管理システム
- ・ グローバル基幹システム

COLLABORATION

- ・ グローバル情報管理システム
- ・ グローバル基幹システム

INNOVATION

- ・ グローバル情報管理基盤
- ・ グローバル情報管理システム
- ・ グローバル基幹システム



グローバル 情報管理基盤

情報機器、通信機器、通信、ソフトウェア、データベース等グローバルに情報を管理する基盤を指す。

グローバル 情報管理システム

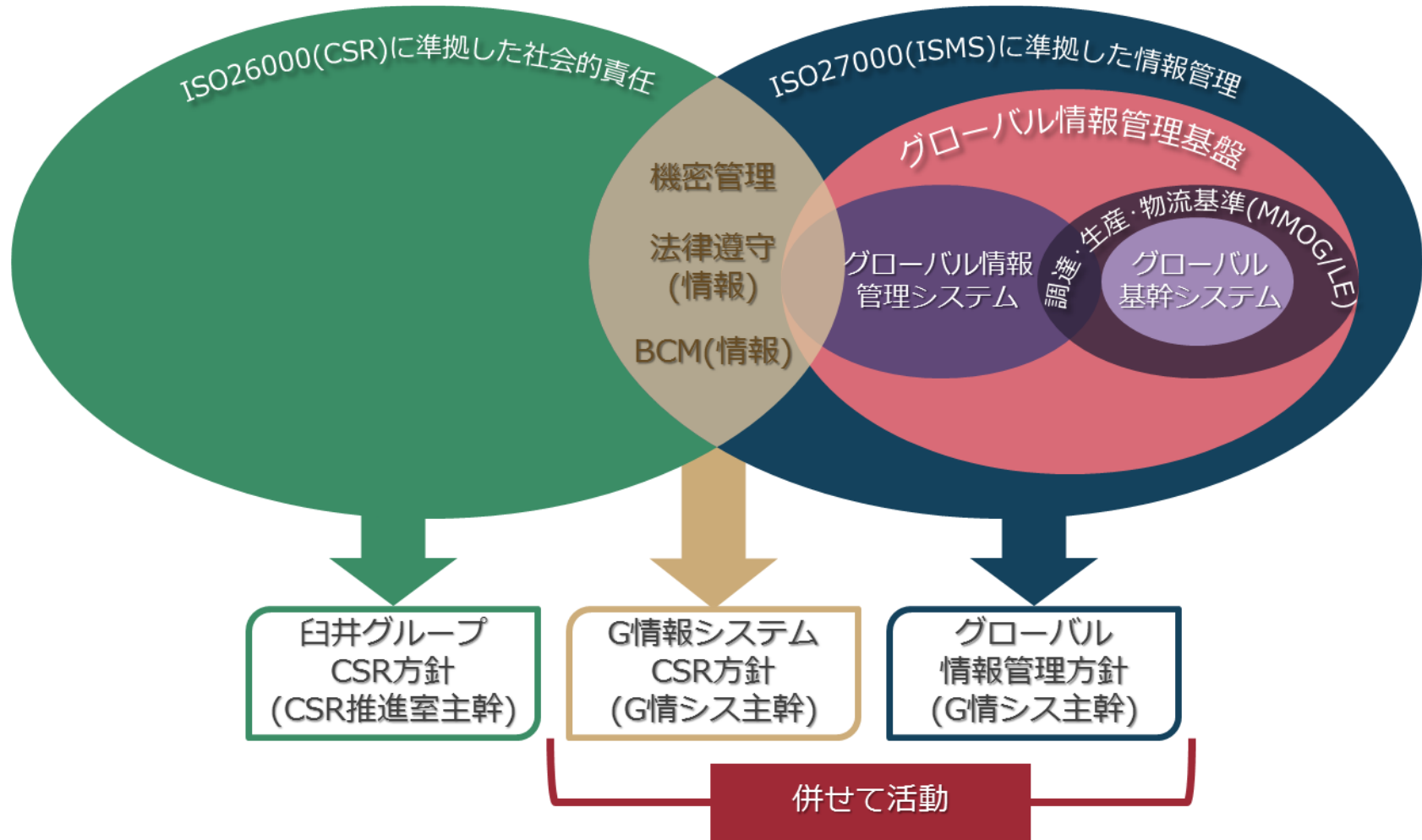
電話、メール、テレビ会議、情報共有等、主に非定型業務向けシステムを指す。

グローバル 基幹システム

生産管理、購買管理、受注出荷管理、財務管理、原価管理、人事管理等の定型業務向けシステムを指す。

情報セキュリティ行動指針

ISO26000とISO27000に準拠した共通実施項目である、機密管理、法律遵守（情報）、BCM（情報）をおこなう。これらの活動はグローバル情報管理方針活動とともに実施する。



個人情報管理基本方針

USUIグループは、個人情報の保護に関する法律、EU一般データ保護規制、その他関連法令等を遵守し、お客様、お取引先様から提供された個人情報を適正に取り扱います。

個人情報管理行動指針

1) 個人情報の適正な取得

業務上必要な範囲で、かつ適法で公正な手段により個人情報を取得します。
センシティブ情報を取得する際、法令に定められた場合を除き、事前に本人から同意を取ります。

2) 利用目的の明確化

下記に記載する目的に限定して、個人データを処理します。

- ・お客様、お取引先様との契約履行におけるオーダー処理、製品・サービスの配送、サポートの提供、見積書/請求書発行、お取引先様関係管理
- ・USUIグループのサービス、製品、各種イベントの案内
- ・USUIグループの新製品の開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
- ・USUIグループのサービス、製品、及び採用への応募に関するお問い合わせ対応
- ・お客様、お取引先様への敬礼、お祝い、お見舞い、ご挨拶
- ・その他これに付随する業務の遂行

3) 第三者への開示・提供

USUIグループは、以下のいずれかに該当する場合以外は、個人データを第三者へ開示または提供することはありません。

また、センシティブな情報を含む個人データについては、法令で定められている場合や本人が明示的に同意された場合以外は、いかなる場合においても第三者に対して開示または提供することはありません。

ただし、USUIグループが個人データを共同利用する場合、及び利用目的の達成に必要な範囲内において、個人データの取り扱いの全部又は一部を委託する場合において当該業務委託者に個人データを提供する場合、第三者への開示または提供には該当しません。

- 本人の同意のある場合
- 法令上の業務を果たすため開示、提供を求められた場合
- 人の生命、身体または財産の保護のために必要な場合で、本人から同意をいただくことが困難である場合
- 国または地方公共団体が、公的な事務を実施する上で協力する必要がある場合で、本人から同意をいただくことにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
- 合併、会社分割、営業譲渡その他の事由による事業の承継に伴って提供する場合

個人情報管理行動指針

4) 業務の委託

USUIグループは、本行動指針の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先に対して個人データを提供することがあります。

この場合、これらの業務委託先との間で個人データの処理に関わる契約の締結をはじめ、適切に委託先の管理・監督を行います。

- 倉庫、配送などの物流業務のため、運送業者へ個人データの処理の一部を委託する場合があります。
- 品質保証のため、検査を行う業者へ個人データの処理の一部を委託する場合があります。
- お取引先様との商談、会議、連絡先管理において、電子メールシステム、名刺管理システム、WEB会議システム等の一般コミュニケーションツールを利用するため、クラウドサービス提供会社へ個人データの処理の一部を委託する場合があります。
- お客様、お取引先様との契約履行のため、USUIグループ構内で製品製造、出荷検査等をおこなう協力企業へ個人データの処理の一部を委託する場合があります。

5) EEA域外への移転

USUIグループは、業務に委託先や共同利用先を含めて、EEA域外の第三国へ個人データを移転する場合、EUが定めるGDPRに準拠した標準データ保護事項により、必要かつ適切な措置を講じます。

個人情報管理行動指針

6) 正確性の確保

USUIグループは、個人データを最新の内容に保つように努め、誤りや不足のあった場合にはこれを訂正するように努めます。

7) 保存期間

USUIグループは、収集した個人データをデータの収集目的に必要な限度を超えて保存することはありません。

8) セキュリティ

USUIグループは、個人データの正確性および安全性を確保するため、個人データへの不正なアクセス、個人データの漏洩、滅失又は毀損等のリスクに対し合理的な措置を講じます。

調達活動宣言

USUIグループは、世界で最も良いものを、最も安く、最もタイムリーに、最も安定的に調達する。これをグローバルUSUIで確実に成し遂げるために、有機的なネットワークで調達基盤を構築することを目指します。

同時に、透明・公正を基本にお取引先様と強いパートナーシップを築き、ともに社会的責任を果たすことにより健全な社会の維持に努めます。

調達基本方針

国籍、企業規模、取引実績に関わらず、取引を希望されるお取引先様に対して、公平かつ公正に参入機会を提供します。

そのために広く世界のお取引先様を開拓し、競争の維持を心掛けます。

発注に際しては、品質、供給、価格、技術、経営などの競争力と、法令および社会的規範遵守、人権尊重、雇用と職業に関する不当差別撤廃、児童労働および強制労働排除、環境保全・社会貢献活動などの社会的責任の観点から、適正かつ客観的にお取引先様を評価、選定します。

調達基本方針

お取引先様と長期的かつグローバルな視点から目標を共有し、緊密なコミュニケーションで信頼関係を深め、相互研鑽することで共存共栄を図ります。
各種法令、企業倫理、社内規制類の遵守、また地球環境の保全、生態系への影響低減に配慮し、国際・地域社会に貢献します。

グリーン調達ガイドライン

USUIグループでは、グリーン調達活動を環境マネジメント活動の重要な役割として位置付けています。

今後ますます厳しくなる環境規制に対応するためには、全てのお取引先様と情報の共有化を図り、共に環境への取り組みを強化・推進していく必要があります。

この考え方に基づき、調達要件として「グリーン調達ガイドライン」に纏めています。

紛争鉱物問題対応方針

USUIグループは、コンゴ民主共和国及び周辺国などにおける人権侵害・環境破壊等に加担する恐れのある3TGを含む資材（材料、部品等）の取引及び使用をしません。さらに責任あるサプライチェーンを確立するため、お取引先様に対しても、展開・調査します。

紛争鉱物問題対応行動指針

紛争鉱物対応

- 1) 材料・部品を購入するに際し調査を実施し、コンゴ民主共和国及びその近隣周辺地域で産出された武装勢力の資金源となる恐れのある紛争鉱物（タンタル、スズ、金、タングステン）は購入しません。
また、調達先が未確認な場合は調達しません。
- 2) お客様が実施される紛争鉱物に関する調査に協力し、連携して紛争鉱物排除ならびに責任ある調達活動に取り組みます。

人権・労働宣言

USUIグループは、社会の一員である企業として、すべての活動において人権尊重の重要性を認識しています。持続可能な企業活動を展開していくうえでの社会的責任のひとつであると考え、人権・労働に関する基本方針を策定しています。

人権・労働基本方針

USUIグループは、人権が重要な問題であることを確信しています。その尊重に向けた取り組みは企業が果たすべき社会的責任であるとの認識に立ち、安心・安全で豊かな社会を築くため、人権を尊重する企業体質の確立を目指します。

- 1) 差別の禁止
- 2) ハラスメント防止
- 3) 児童労働の禁止
- 4) 強制労働の禁止
- 5) 賃金
- 6) 労働時間
- 7) 社員との対話・協議
- 8) 安全・健康な労働環境
- 9) 人材の育成
- 10) 先住民族の権利

人権労働行動指針

1) 差別の禁止

国籍、人種、民族、年齢、性別、宗教、政治的見解、社会的身分、配偶者や子の有無、障がい等を理由とした差別を一切行いません。

2) ハラスメントの禁止

職場における、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント、セクシャルハラスメント及びパワーハラスメント等のあらゆる形態のハラスメントのや、暴力、暴言、身体的・精神的威圧などの非人道的な扱いを一切許容しません。

3) 児童労働の禁止

法令による就労可能年齢、義務教育終了年齢、また18歳未満の若年労働者を危険有害労働に従事させません。

4) 強制労働の禁止

すべての労働は自発的であること、および従業員が自由に離職できることを保障し、あらゆる形態の強制労働を認めません。

5) 賃金

最低賃金、超過勤務、賃金控除、その他給付等に関する法令を遵守します。

6) 労働時間

従業員の労働時間（超過勤務を含む）および休日・年次有給休暇の付与その他について、法令を遵守し、適正に管理することで過度な労働時間を禁止します。

7) 結社の自由、従業員との対話・協議

従業員の結社の自由（結社しない権利を含む）および団体交渉権を尊重し、従業員の代表、もしくは従業員と誠実に協議・対話を行います。

人権労働行動指針

8) 安全・健康な労働環境

職場の安全・健康に対するリスクを特定・評価し、適切な設計や技術・管理手段をもって、労働者の身体的・精神的な安全・健康を確保します。

9) 人材の育成

全従業員一人ひとりが自己の成長を実現させ、能力を最大限に発揮するために、資質の高い人材の育成に取り組みます。

10) 国連の「先住民族の権利に関する宣言」を遵守します。

* 上記1～10の項目については、常時モニタリング（社内外通報制度）していきます。

人権労働に関するKPI

1) 差別の禁止

国籍、人種、民族、年齢、性別、宗教、政治的見解、社会的身分、配偶者や子の有無、障がい等を理由とした差別を一切行いません。

2) ハラスメントの禁止

職場における、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント、セクシャルハラスメント及びパワーハラスメント等のあらゆる形態のハラスメントのや、暴力、暴言、身体的・精神的威圧などの非人道的な扱いを一切許容しません。

3) 児童労働の禁止

法令による就労可能年齢、義務教育終了年齢、また18歳未満の若年労働者を危険有害労働に従事させません。

4) 強制労働の禁止

すべての労働は自発的であること、および従業員が自由に離職できることを保障し、あらゆる形態の強制労働を認めません。

5) 賃金

最低賃金、超過勤務、賃金控除、その他給付等に関する法令を遵守します。

6) 労働時間

従業員の労働時間（超過勤務を含む）および休日・年次有給休暇の付与その他について、法令を遵守し、適正に管理することで過度な労働時間を禁止します。

7) 従業員との対話・協議

従業員の結社の自由（結社しない権利を含む）および団体交渉権を尊重し、従業員の代表、もしくは従業員と誠実に協議・対話を行います。

8) 安全・健康な労働環境

職場の安全・健康に対するリスクを特定・評価し、適切な設計や技術・管理手段をもって、労働者の身体的・精神的な安全・健康を確保します。

9) 人材の育成

全従業員一人ひとりが自己の成長を実現させ、能力を最大限に発揮するために、資質の高い人材の育成に取り組みます。

KPIに対する実績

コンプライアンス KPI/実績

No	指 標	2025年度KPI	2025年度実績	達成率	2026年度KPI
1	差別の禁止	内部通報件数：0 件	0件	100%	内部通報件数：0件
2	ハラスメントの禁止	内部通報件数：0 件	0件	100%	内部通報件数：0件
3	強制労働/児童労働の禁止	内部通報件数： 0件	0件	100%	内部通報件数：0件

ダイバーシティ宣言

USUIグループは、安定した業績で持続可能に成長できる企業になるため、グローバルにダイバーシティを浸透・定着させ、従業員一人ひとりが柔軟性を持ち、生きがいを感じながら働ける企業を目指します。

ダイバーシティ方針

USUIグループは、組織の持続的成長に従業員一人ひとりが貢献できるよう、一人ひとりの多様性を日常的に自然に活かせるような職場環境・組織風土の整備と意識改革を行います。

ダイバーシティ行動指針

様々な視点での多様性に触れる機会を提供することで多様性に対する抵抗感をなくし、多様性を活かすことによる効果を体感し、今まで通りを見直し変化に前向きに取り組めるような環境整備と意識改革を行います。

人材開発・育成宣言

USUIグループは、全従業員一人ひとりが自己の成長を実現させ、能力を最大限に発揮するために、資質の高い人材の育成に取り組みます。

人材開発・人材育成方針

USUIグループは、従業員の能力を最大限に発揮するために

- ・ 教育体系の整備、研修制度の強化
- ・ グローバル戦略を実現する人材基盤の整備・構築
- ・ グローバル最適を目指す人材配置

を実現します。

人材開発・人材育成行動指針

1) 人材の確保

- ・ 採用活動の多様化の推進

2) 人材育成・活用

- ・ 教育体系の見直し
- ・ グローバル人材に求められる語学力向上
- ・ 女性管理職候補の育成
- ・ 教育・評価実績のデータベース化

安全衛生宣言

USUIグループは、「安全は全てに優先する」を基本に、人間尊重の基本理念のもと、全ての従業員の安全と健康を確保することを企業の社会的責任と考え、何よりも優先される重要課題と認識します。

安全衛生基本方針

安全とは危険を考えること
危険を排除し続ける努力なくして
安全は得られない

安全衛生行動指針

過去に発生した労災を再発させないために、過去トラ対策が継続・定着しているかを確認し、全ての従業員に対して、安全衛生を教育し理解向上を図ります。

1) 過去トラ対策の再確認

過去の災害を起因物に層別し、対策状況の確認とシステムへの落とし込みを図ります。

2) 従業員の理解向上活動

毎日のミーティングでの展開、定期的な教育を実施します。

労働安全衛生行動指針

1) 安全・健康な労働環境

関連法令を遵守することに加え、職場の安全・健康に対するリスクを特定・評価し、適切な設計や技術・管理手段をもって、労働者の身体的・精神的な安全・健康を確保します。

2) 労働災害および疾病

労働災害および労働疾病を防止するために、事故やトラブル等が発生した際には、発生状況を正しく把握し、適切な対策を講じます。

3) 緊急時への備え

人命および身体の安全を損なう恐れのある緊急時に備え、被害を回避・最小化するために必要な行動手順の作成や安全対策を講じ、職場内に周知徹底させます。

4) 産業衛生

人体に有害な影響を及ぼす恐れがある化学物質、騒音、悪臭等に接する状況を特定し、適切に管理します。

5) 身体に負荷のかかる作業

身体に負荷のかかる作業、健康被害を生じる恐れのある作業を特定し、労働災害や疾病の発生を防止するために適切に管理します。

6) 機械の安全対策

職場で使用する機械や設備に関する危険源を特定し、適切な安全対策を講じます。

7) 安全衛生のコミュニケーション

労働者の安全・健康を損なう恐れのある危険源について、労働者が学ぶことができる教育・訓練の機会を提供します。

労働安全衛生に関するKPI

1) 安全衛生に関して

- ・ 休業災害件数
- ・ 不休災害件数
- ・ 職業性疾病件数

KPIに対する実績

目標（KPI）に対する実績臼井国際産業（株）
2026.2.6

No	指 標	2025年度KPI	2025年度実績	達成率	2026年度KPI
1	休業災害	0件	0件	100%	0件
2	不休災害	0件	1件	×	0件
3	職業性疾病	0件	0件	100%	0件

品質活動宣言

USUIグループは、「自動車産業品質マネジメントシステム規格・自動車産業の生産部品及び関連するサービス部品の組織に対する品質マネジメントシステム要求事項」であるIATF16949を認証取得し、お客様満足度を高めて「世界の顧客に信頼される企業」を目指しています。

品質基本方針

USUIグループは、お客様が満足する世界一の製品を以下の要件で生産し、QMSの有効性を継続的に改善することにより、顧客満足度100%を達成します。

- 安全で人にやさしい環境の工場
- お客様が満足する品質を確保
- 年度品質目標の達成
- 必要な法令を含め全ての要求事項に適合

品質行動指針

高品質で安全性の高い製品の提供

- 1) 製品の開発・設計・製造・検査・輸送の各段階において、安全への細心の配慮を行うとともに、品質の確保に努めます。
- 2) 製品不良やお客様からのクレームに対し、迅速かつ誠実に対応するとともに、その原因を徹底的に追求し再発防止に努めます。
- 3) 適切な品質マネジメントシステムを構築・運用し、必要十分かつ正確な製品情報の提供に努めます。

環境基本方針

USUIグループは、自動車部品の設計、開発及び生産活動において、企業の社会的責任の一環として、地球環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会の構築に向けて、企業活動のあらゆる面で「人の健康維持」と「地球環境保全」に努力を払い、また貢献することに努めます。

環境行動指針

1. 環境負荷低減・汚染の予防

- 1) 天然資源とエネルギーの使用量を削減するよう努めます。（CO₂の削減）
- 2) 廃棄物の削減化・リサイクル化に努めます。
- 3) 使用している化学物質の削減に努めます。
- 4) 環境汚染の未然防止に努めます。
- 5) 環境保護に努めます。
- 6) 再生可能エネルギーの利用拡大に努めます。

2. 目的・目標の設定、見直し及び継続的改善

この方針に基づき環境目的・目標を定め、見直しを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善していきます。

3. 法規制の遵守

組織の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。

グローバル環境保全活動理念

USUIグループは、持続可能な社会の実現を目指し、事業活動を通じて環境課題の改善を進めるとともに、会社運営のすべての面で人と環境の調和を目指します。

グローバル環境保全活動宣言

地球環境を改善し、次世代に受け継ぐため、環境マネジメントシステムにより

- ・ 低炭素社会の構築
- ・ 循環型社会の構築
- ・ 環境保全と自然共生社会

の実現に向けた活動をします。

グローバル環境保全活動行動指針

- 1) 法規制の遵守の上での環境パフォーマンス向上改善活動の推進
- 2) 環境情報の共有と一元管理による情報の見える化
- 3) 環境保全活動を推進できる人材交流、人材育成の推進

環境KPIに対する実績

目標（KPI）に対する実績

臼井国際産業（株） 2026.1.27

No	指 標	2025年度KPI	2025年度実績	達成率	2026年度KPI
1	エネルギー使用量の削減 (原油換算売上減単価:31.6kl/億円) 2024年比	△1%	▲1.9% (32.0kl/億円)	×	△1% (31.4kl/億円)
2	エネルギー使用量 5年間平均	△1%	△3.6%	○	△1%
3	CO2排出量の削減 (売上原単位:61.536t/億円) 2018年比	△19.5%	△19.0% (53,720t)	○	△20.3% (49,071t)
4	水使用量の削減 (1.39千m3/億円) 2023年比 (売上原単位)	△2%	△2.5% (1.37千m3)	○	△4% (1.29千m ²)
5	廃棄物排出量の削減 (8.87t/億円) 2024年比 (売上原単位)	△7%	▲0.6% (8.93t/億円)	×	△5% (8.45t/億円)
6	廃棄物埋立処分量の削減 (115t) 2023年比 (絶対量)	2023年以下	149.9t (+23.2%)	×	2023年以下 (115t以下)
7	廃棄物再資源化率の向上 2023年 (98.5%)	2023年以上	97.8%	×	2023年以上 (98.5%以上)
8	PRTR対象物質の移動量削減 (絶対量1.04t) 2022年比 (0.99 t)	2022年以下	1.14 t	×	2022年以下 (0.99t以下)
9	VOC排出量の削減 (絶対量96.05t) 2024年比 (85.7 t)	△3% (83.1t)	▲0.3% 94.1 t	×	2022年以下 (93.4t以下)